

宮崎議員（自民議連）

令和2年2月28日

教育長 答弁 実録

（教育委員会）

（問）産業界が求めるものづくり人材の量の確保策について

ものづくり現場を支える優秀な若手人材をより多く輩出するため、どう取り組んでいくのか、教育長の所見を伺う。

また、昨年12月定例会の自民議連の下森議員の一般質問への関連として、小林議員からの県北地域への工業系高校の創設に関する質問に対し、工業の学科を希望する生徒は少数であり、生徒・保護者のニーズや地元産業界の意見などを踏まえ検討の必要があるとの答弁であったが、今後どのように検討を進めていくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

地域の産業を担うものづくり人材をより多く輩出するためには、地域や産業界と連携し、各発達段階に応じて、ものづくりへの興味・関心を高めるための取組を進める必要があると考えております。

そのため、工業高等学校が主催する小学生対象の親子ものづくり教室や、「ひろしま技能フェア・ひろしまものづくりフェスタ」での高校生が指導するものづくり体験、中学校が実施するキャリア・スタート・ウィークなどにおいて、地域のものづくり企業が持つ技術力や魅力を体験するなどの取組を行っているところであり、引き続き、ものづくり現場を支える人材の確保に努めてまいります。

次に、県北地域への工業系高等学校等の設置についてでございます。

県北地域への工業系高等学校や学科の設置について検討を進めるに当たり、県北地域の商工会議所を訪問し、県北地域における産業の実情や必要とする人材、工業系高等学校や学科の設置に対する思いなどについて、お聞きしたところでございます。

その際、土木系の若い人材が不足しており、高校生が建設業や土木業を知り、興味を持つ取組などを進めて欲しいといった御意見をお伺いいたしました。

教育委員会といたしましては、地域における中学校卒業見込み者数の推移や生徒・保護者のニーズ、卒業後の進路の見通しなどを踏まえ、引き続き、関係者の御意見をお聞きしながら、検討を進めてまいります。